



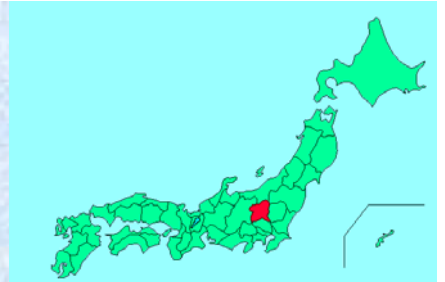
やんばおおはし ハツ場大橋

ハツ場大橋（工事名：湖面1号橋）は、建設予定のハツ場ダムのだま湖に架かる橋長494mの5径間連続PCエクストラードロード橋です。

この構造形式の橋梁は、群馬県自らが初めて施工しました。

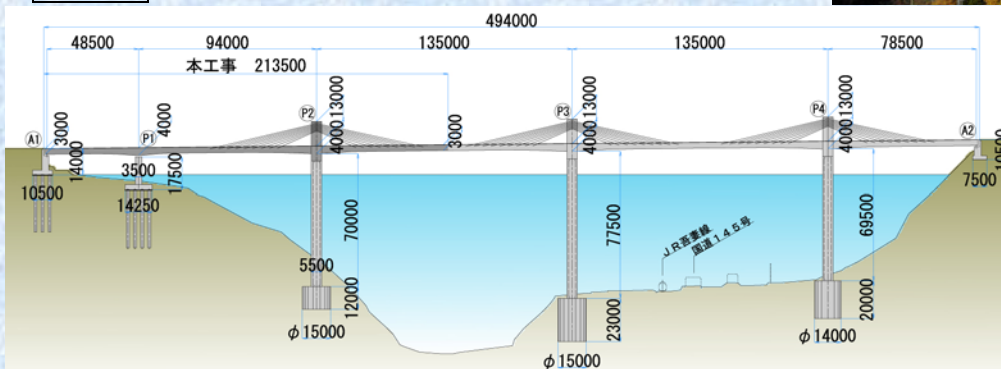
本橋は、付替国道145号と一般県道林岩下線を結ぶ一般県道川原畑大戸線にあります。この道路は、水没する川原畑地区と川原湯地区の移転代替地を結び、代替地での生活再建や川原湯温泉の観光振興を支援します。

なお、本橋の工事は2工区に分割され、当社はA1～P1～P2の延長213.5mを施工しました。

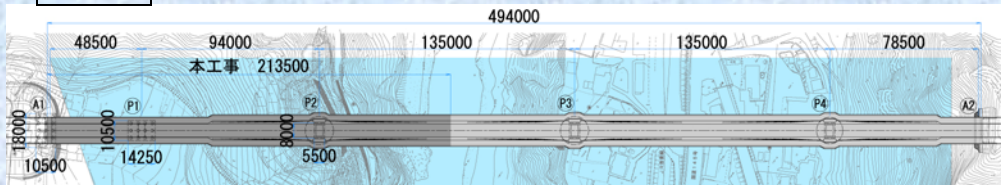


◆一般図

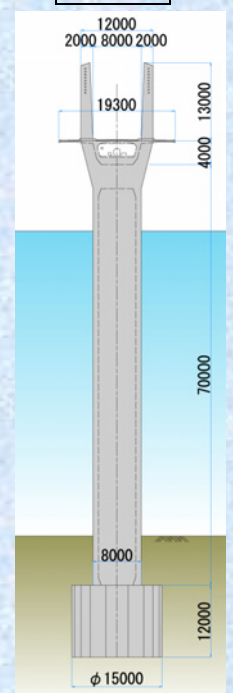
側面図



平面図



正面図



◆橋梁諸元

工事名：社会資本総合整備（活力創出基盤整備）（仮称）湖面1号橋

上部工分割1号

発注者：群馬県

設計者：㈱建設技術研究所

位置：群馬県吾妻郡長野原町大字川原畑～川原湯

道路規格：第3種第3級

形式：5径間連続PCエクストラードロード橋

荷重：B活荷重

橋長：494.0m(48.5+94.0+2@135.0+78.5m)

総幅員：14.3m(有効幅員 車道：7.0m 歩道：2@3.25m)

架設工法：張出し架設工法

PC鋼材：斜材：SWPR7BL 19S15.2（ディビダーク工法）

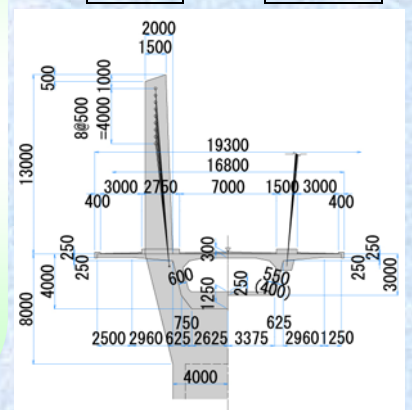
主方向：SWPR7BL 12S15.2（ディビダーク工法）

横締め：SWPR19L 1S28.6（ディビダーク工法）

断面詳細図

主塔部

定着帯部

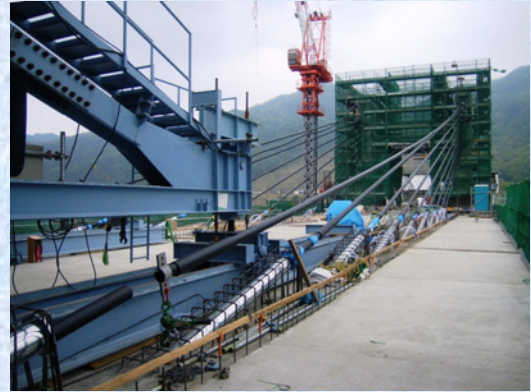


◆構造・施工概要

- 1) エクストラード形式は桁高を低く抑え、景観に優れシンボル性も高い構造形式です。主径間部は高さ70m以上の高橋脚を有するラーメン構造とし、また高さの低い橋脚では、免震支承を介した連続桁としており耐震性に優れた構造です。また、主桁をコンクリート箱桁として維持管理を容易にしています。
- 2) 斜材は2列配置全9段あり、主塔部には斜材の定着体を省略できるサドル構造を採用しています。
現場製作するケーブルの防食仕様は保護管（高密度ポリエチレン管）＋セメントグラウトの二重防食仕様です。
斜材の架設は、仮設ストランドにより保護管を吊り上げ、これにP C鋼より線を挿入する方法としました。これは総足場による架設と比べて高所作業が不要なため施工の安全性が向上するとともに、施工中に橋面上を広く使うことができます。
- 3) 主桁架設は、P 2張出し架設が14ブロック、P 1では6ブロックで、側径間の一部は固定支保工による施工です。



P2 架設作業車とタワークレーン



斜材の無足場架設(S9)



P2 張出し架設



P1 張出し架設と A1 側径間支保工架設

◆工程表

項目	平成23年			平成24年												平成25年												
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
準備工																												
仮設備工																												
脚頭部工																												
柱頭部工																												
張出し架設工																												
主塔工																												
側径間工																												
中央閉合工																												
2次ケーブル工																												
橋面工																												
片付け																												



三井住友建設

発行：三井住友建設（株）土木本部 土木設計部
 連絡先：東京都中央区佃2丁目1番6号 TEL03-4582-3063
 URL：http://www.smcon.co.jp